

客貨一体の 取り組みを

第113回 拡大地方委員会

三月十日第百十三回拡大地方委員会が新潟市『トークイン新潟』で十一時から、エリア本部・藤野副委員長を来賓に迎え開催しました。また、函館闘争団から坂野団員が出席し、全体で四十名の出席でした。



地方委員など十名が、JR不採用事件や職場の問題点、地域の活動など発言があり、全体の闘う体制が確立。守橋委員長長の団結カンパロウで終了しました。

加藤副委員長 開会あいさつ

加藤副委員長は、『国鉄は最低一万円を要求。ストライキの行使を客貨一体で。JR不採用事件について2・16集会の成功・全国キャラバンの展開。一日も早い解決を。3・30集会の成功を』とあいさつしました。

NO. 596
発行
07・3月24日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

四者・四団体の団結 守橋委員長 あいさつ

春闘要求、2月7日提出、1万円の賃上げ・統一重点項目を要求。要請はがき・ファクス行動など貨物行動を地本全体の取り組みに。『仕事・安全総点検』運動の強化を。

労働・雇用問題が社会問題に。『貧困と格差』・ワーキングプア・非正規社員が3人に1人の割合に。規制緩和・労働法制改悪阻止の闘いをしっかりと。

JR不採用事件の早期解決をめざす闘い 『20年を超えさせない』先の中央委員会で確認9次にわたる集中した行動が展開。新潟では、新潟労働局・北陸信越運輸局への要請～ILO7次勧告の『援助』を受け入れよ 解決交渉テーブルの設置を。新潟県労働委員会・労働者側委員から安倍総理あての要請書を昨日付け提出。四者・四団体の団結がしっかりしたものになっている。25日からILOに再度の要請『援助』にどう対応・国際的に注目されている。3・30集会の成功を。

正常な労使関係の確立と組織拡大 東日本で昨年11月パッチ事件を含む全事件の一括和解、全てが解決したとは考えていない。『差別のない対等な労使関係確立にむけた中間的到達点』としてこれから組織拡大に結び付けることができるかどうかにかかっている。和解後の職場点検調査を、しっかりした点検をお願いしたい。

政治反動を許さず平和・民主主義を守る闘い
タカ派、貧困と格差の現実に一切目もくれない。
5月3日までに改憲手続き法案を通すと～地域での集会に国労の旗が必ず翻っている姿を。統一地方選挙・参議院選挙～反動政治を許さない候補の勝利のために全力を。

安倍内閣は、極めて危険な



議長は、新潟支部の新野委員を選出、守橋委員長のあいさつ、藤野副委員長のあいさつ、その後、坂野団員の訴えなどがありました。

真剣に解決していく

坂野団員の訴え

新潟の仲間がいるからやってこれた。十五年間交流。だから二十年間闘ってこれた。早い時期に、元氣なうちに解決を。平均五十七才を超えている。四者・四団体の解決に向けて意見の食い違いを、どうしていくのか交流会を開催した。全国争議団～一月二十二日から上京行動・カンパ箱の要請。新潟の要請行動を通じて我々の運

動を強くしていく。労働者側委員の意見要請十三本目(新潟三月九日実施)。本部も含めて要請を地方から中央へ出て要請していく。四者・四団体・ひとつにまとまってきた。十一月五日新たな訴訟。当事者の闘う決意・国労本部の決意が求められている。本当に真剣に解決していくことが大切だ。本部・佐藤委員長長の決意



みんなの意見



三月七日、電装会社から(三十人規模)一人配属された。ひとり希望退職があり欠員が生じたため。作業区分が無いため、共同でやっている。(基本は区別されている) 監査の時は区別されている。チェックはやった人がする。要員が無い、派遣社員に頼っている現状。

他職場についても要員が足りない、欠員。作業場が、出向者・退職者NKYなど丸ごと外注へ。

車両の安全をどう守る。技術の継承はどうやっていくのか。車両所の提案は、退職者が発生しても補充しない。製造は外注会社、管理はJR。



**東日本本部
藤野副委員長
あいさつ**

情勢～国会は異常な状態。貧困が増・非正規労働者の拡大・年収200万円以下の労働者。仕事が無い。全然考えていない～春闘と結合して闘いに。

177回中央委員会～ 国鉄闘争を早期解決を・何としても解決を。安全・安定輸送を。事故が多発している。並行在来線問題。与党を含む全政党への要請。4者・4団体の団結強化～ILO要請、20年を超えさせない。大衆行動をつくっていく。

12月8日～新たな訴訟。政治解決を基本に考えて、裁判闘争へ。ILO7次勧告『援助』を真剣に検討を。大同団結から＝総団結を。そして、解決交渉テーブルをつくる。自治体決議 684・1034本の採択。全国の自治体～1/4～1/3を採択した。

中労委和解 勝利解決では無いが、これからどう前進させていくのか。昇進和解～受験をどう取り組むか。自動昇格制度へ。今後の交渉権の確立 他労組組合員が国労に期待している。～変化のあらわれだと考える。

春闘 2/7～1万円の要求・JR総連は3千円。東労組は春闘時に夏季手当でも要求した。国労は3・2ヶ月を要求した。

貨物は～1回目を2月26日・2回目は3月6日 会社側は支払う能力が無いと回答。最賃制の闘いも重要～時給1000円・年収300万円。

安全・安定輸送 羽越線事故～その後も事故が多発している。田町駅の信号事故・運輸局から警告書が出た。会社は1370億円の設備投資。当初は70億円だった。

駅のあり方 駅社員～天下り社員、500人の契約社員。要員が足りない。苦情がすさまじい状況。この状況に絶えられるか 天下り社員と契約社員。 ライフライン＝40才以下の乗務員を5年間の駅業務。 ダイ改～乗務員行路の調査実施。問題点を具体的に指摘した。

などなど、多くの課題や中央委員会の報告がありました。



十年後には現場にJR社員はいなくなる。外注が進む、社員がいなくなる。どのように地本は考えているのか。

労働法制～大変な状況・国労の方針の中でどうか。雇用の確保・金銭解決など国労はどうなのか。国労運動六十年～一〇四七名の闘い・労働運動が分かりづらい。裁判・ILOなど。スローガンを確認・そして団結すると考える。運動は解雇撤回のために闘ってきた。民営化は究極の合理化、極限的なもの。競争の激化。反対していくこと、方針として掲げて闘うべきだ。現場の労働者が、ブレないこと。情勢について、米・朝の開戦がありうる。戦争に巻き込まれる。国労の平和四原則「原則にかえて運動を進めていく。」



国労六十年・国鉄闘争二十年・安全問題～国労の運動は正しかったのかどうなのか。ひとり一人が総括していく必要がある。今後闘う決意と

みんなの意見

支部での取組みについて、三月二日・春闘行動、新潟駅頭宣伝行動展開・チラシ配布実施。十五名が参加。地本学習会は春闘らしく、別に企画を、拡大地方委員会の発言保障を。JR不採用事件、中央行動八次・ハンスト行動については個々に要請していく。

暖冬で雪が無いラッシュセル車の稼働が無い。切捨てへ動いている。強力MR車を製造。来年度から配備する予定。



国鉄新潟特集

596

2

拡大地方委員会

職場での事故・ミスは個人の責任に安全についての作業バックアップ体制を。

ハイヤー・タクシー 規制緩和で認可が自由・台数が全国に比較しても多い。労働者の年収が二〇〇万円代。厳しい実態だ。



駅のあり方について 実態は厳しい状況 委託化・機械の導入。新潟には、まだ導入されていない。

書記長集約

全面外注化の闘い 法令を守らせる闘い 労働局のホームページに労働協約に関するチェック票がある、活用しその内容によって状況がわかる。=偽装請負。アスベストの点検・再チェック。厚労省が指示。

JR不採用事件 20年を迎える。4者・4団体による運動に共同で進めていく。新たな訴訟～到達点を確認していく。政治解決を基本的に闘っていく。早期解決をめざす。177回中央委員会で決定した方針を進める。8次の中央行動をやりきる。『1万人アピール運動』年度末を区切りにして進めていく。『3・30集会』を成功させる。

07春闘 3/2統一行動～新潟支部実施。酒田～3/17直江津～3/23それぞれ展開する。貨物の3/13総行動。Fax・八ガキ行動の展開。客貨一体の取組みを。

合理化対策 ダイ改 3/12団交・駅のあり方について交渉。

安全・安定輸送 通年的な課題として取り組む。改めて交渉を再開する。土砂崩壊の原因・不確定～あらためて要求書を作成し団交を。地域住民と結合した闘い。

組織強化・拡大 職場の運動・分会の運動が基本。地本は分代を開催した時には、地本も出席し一緒に議論していく。

リモートマルス、五地本に導入した。無人君の国鉄版。お客が混乱、盛岡のセンターは大変な状況。苦情が多い。

長岡ビュウプラザと駅が一体化。新販売店になる。ハイカウンター・ロウカウンターに。営業時間・販売実態について考えていきたい。

MV300 現在三台・今後、増やしていく。前作業してないと間に合わない。実態が具体的に発生している。身近な問題。購入券が無くなる。(旅会社) JRカードへ移行。カードで購入・窓口で買うなど指導された。機械で購入。稼働率が上がっていないため、それを上げるため？再度、具体的に点検していく。



並行在来線、二〇一四年・北陸新幹線。開業後、運賃は一・六倍。自治体負担・公共負担。貨物会社の負担。線路使用料・本数によって変わる。国・JRの責任、役割が明記されていない。県・上越地域振興局

のパンフ「八項目の懸念・経営問題について出されている。現実から考えると、地域も同様の認識だ。自治体への要請、今後はどう運動を進めて行くのか、問題点を明らかにしていく。具体的に運動をどう作っていくのか、政府・与党へ見直しを、JRの存続を図る。JRは開業後は感知しない。責任・役割をはっきりさせる。今後、地本の指導・強化を。幹線のダイヤ・アクセスについて考えていく。





春闘は、客貨一体の運動を追及。Fax・ハガキ行動を取り組む。三月十三日、貨物本社前集会所が取り組まれる。貨物係争事件・2%問題・昇進差別事件、一月十三日合同弁護団会議を開催。和解について、いかに差別を明らかにして水準を上げる。調査している。他労組も含め、昇進・昇格の調査、早急に集約を。

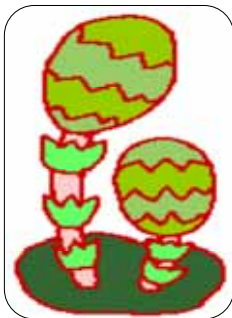
新夕で事故、貨車とフォークの衝突。現場検証で貨車に明記していない内容のものが搭載、危険物が搭載されていた。一定の表示の義務化。今後、追及していく。

賃金が年齢によってカットされる。高齢者雇用促進法、六十才以降の雇用問題。JR各社では、再雇用嘱託社員として再雇用。JR東日本はDVDの映像で技術継承。最大の問題は、

新幹線にアスベストが使用されている。(補助空気モーター部分)車両に本当に使用されていないか会社

を追及していく。検討を。

東海はダイ改で、乗務員の構内入換え作業を委託化。事故発生時、指揮命令系統について、委託できるのか。



物販 昨年夏・四十七万円。冬三十七万円の売り上げ。直販を展開している。鶴岡市職労へ。直販十二万円、カタログ・十六万円。組合員の直販によるオルグによって国鉄闘争を広めていく。今年の夏、要請があれば実施する。

安全問題 余目駅にトップライレダーの設置。安全は国の責任として追及していく。小岩川の土砂崩れの危険箇所は全体で四十四箇所。羽越線で十七箇所。土砂崩れ検知器、七箇所設置。全体に検知器の設置を。



土砂崩れは十年周期で発生している。(一九八七年八月五日・一九九五年八月四日・二〇〇六年に発生) トンネル着工の理由は、小岩川、あつみ温泉間が単線のため、複線化するためトンネルが掘られた。しかし用地買収ができなかった。

羽越線の風速計の区間・ひとつの風速計で三駅区間。風速計の増強を。実際風が無くても規制がある。取得した株は今後どうするのか。



開花は4月2日

編集後記

ここまで読んでいただきありがとうございます。今回は拡大地方委員会の特集になりました。できるだけ内容を忠実に再現したく、文章が長くなってしまいました。同じ内容を伝えるのではなく、その人が発言した『言葉』を紙面に記載したい

と思っていますのでどうしても長くなってしまいました。また、内容が若干、変わっていましたがご了承ください。今年は暖冬で、不順な天候でしたね。三月に入ってからなかなかスツッドレスタイヤをはずせませんね。一旦、変えてまた付け替えた人もいるかと思えます。

今年は、暖冬のせいか、桜の開花が早いです。二十日のラジオで開花が四月二日と伝えていました。早く暖かい春が待ちどおしいですね。今年も盛大に、花見で一杯やりたいです。つか？

